

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)

【公開番号】特開 2004-215867 (P2004-215867A)

【公開日】平成 16 年 8 月 5 日 (2004.8.5)

【年通号数】公開・登録公報 2004-030

【出願番号】特願 2003-6539 (P2003-6539)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 G

A 6 3 F 5/04 5 1 2 V

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 13 日 (2006.1.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 遊技球を貯留する球受皿を遊技機前面に設け、該球受皿内の遊技球を順次投入して遊技を実施する遊技機において、

払出機構より払い出された遊技球を前記球受皿に対して案内する第 1 払出通路と、この第 1 払出通路内が遊技球で満たされると当該第 1 払出通路とは別経路で同じく遊技球を前記球受皿に対して案内する第 2 払出通路とを備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】 遊技球を貯留する球受皿を遊技機前面に設け、該球受皿内の遊技球を順次投入して遊技を実施する遊技機において、

払出機構より払い出された遊技球を前記球受皿に対して案内する第 1 払出通路と、払出機構と球受皿とを短距離で接続する第 2 払出通路とを備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 3】 前記第 1 払出通路内が遊技球で満たされると、これに代えて前記第 2 払出通路を介して球受皿に遊技球を案内することを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】 前記第 1 払出通路に通じて遊技球を球受皿に排出する第 1 排出口と、前記第 2 払出通路に通じて遊技球を球受皿に排出する第 2 排出口とを互いに離間させて設けたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】 前記第 1 払出通路に通じて遊技球を球受皿に排出する第 1 排出口と、前記第 2 払出通路に通じて遊技球を球受皿に排出する第 2 排出口とを実質上、上流側及び下流側となる位置に配置したことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 6】 前記球受皿を遊技機の横幅方向に延びるよう設け、該球受皿の両端部付近に第 1 排出口及び第 2 排出口を各々設けたことを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載の遊技機。

【請求項 7】 遊技状態に応じて払い出される賞品球を前記第 1 排出口より排出し、球貸し操作に伴い払い出される貸球を前記第 2 排出口より排出する構成としたことを特徴とする請求項 4 乃至 6 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 8】 前記球受皿と前記第 1 払出通路とを合わせた容量を 1 回の特別遊技状態での遊技球払出個数を貯留可能な容量としたことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 9】 一度に所定個数の遊技球が投入されることを遊技の開始条件とすることを特徴とする請求項 8 に記載の遊技機。

【請求項 10】 前記球受皿として、遊技毎に遊技球を投入するための投入口に通ずる第 1 貯留領域と、この第 1 貯留領域の上流側に位置する第 2 貯留領域とを設け、前記第 1 払出通路を通じて第 1 貯留領域に遊技球を案内し、前記第 2 払出通路を通じて第 2 貯留領域に遊技球を案内することを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 11】 前記第 1 貯留領域及び第 2 貯留領域を折り返すようにして連結して設け、各貯留領域の最上流部分にそれぞれ前記排出口を設けたことを特徴とする請求項 10 に記載の遊技機。